

やってみよう!! ワークシート



新聞には毎日、たくさんの記事や写真、^{こうこく}広告がのっています。世界的な大ニュースから身近な地域の話題までさまざまです。神戸新聞社は、その中から知ってもらいたいことや深く考えてほしい記事を取り上げ、ワークシートを使って^{じたく}自宅学習などに活用してもらっています。今回は^{たんば}丹波市の特産品を使った、新しいケーキのお話です。



こしあんクリーム使い甘さすっきり

丹波市の特産品「丹波大納言小豆」をPRしようと、武庫川女子大学（西宮市）経営学部の学生たちが、市内の菓子店などと協力し、新しいケーキ「丹ぶらん」を開発した。小豆のこしあんをクリームを使って、素材の甘さを生かすつ、すっきりとした味わいに仕上げた。2月18日まで期間限定で販売する。小豆の魅力を紹介するリーフレットも5千部制作し、若者や女性の小豆消費拡大を後押しする。

大学生と菓子店協力

丹波大納言小豆のケーキ

丹波市 若者の好み調べ商品化

が必修科目の授業で取り組んだ。昨年10月から学内アンケートなどで若者の好みを調べ、各自が新しい菓子計10種を提案。うち優れた2案を、市内の菓子店「お菓子の夢工房ときわどう」が掛け合わせ、商品化した。

アーモンドなどが入ったタルトに、小豆のあんを使ったクリームをモンブランのように盛り付け。アンケート結果を踏まえ、粒あんではなく、こしあんを採用した。濃厚な小豆の甘みとのバランスを取るため、かんきつが香るバニラムースを中に詰めた。市内産イチゴも彩りを添える。

市内で開かれている「ぜんざいフェア」に合わせ、ときわどうの2店舗で販売する。税込み540円。学内の調査では、若者がコンビニ以外でケーキを買うのは「自分へのご褒美のため」との回答があり、やや高級志向の値段に設定した。

タルトの部分を発案した中谷真香さん(21)は「甘すぎず、しつかりと小豆の味がしておいしい。あんこ好きだけど、このクリームは今まで食べたことがない感じ」と話す。

丹波大納言小豆をPRするため、ケーキ開発やリーフレットを作成した武庫川女子大学の学生と教授ら川丹波市柏原町母坪(画像の一部を加工しています)

(那谷享平)

1月20日の朝刊にのった記事

①武庫川女子大学の学生たちが開発したケーキ「丹ぶらん」は、ア～ウのうちどれでしょう



②「丹ぶらん」の名前のもとになった、フランスとイタリアの国境にある山の名前が付いたケーキは何でしょう

③「丹ぶらん」のあんに使っている丹波市の特産物は何でしょう

④粒あんではなく、こしあんを使ったのはなぜですか

⑤武庫川女子大学の学生は、若者がコンビニ以外でケーキを買うのは何のためだと話していますか

⑥あなたの好きなスイーツは何ですか

答えは19日の「週刊まなびー」にのるよ。



<作成協力・武庫川女子大学経営学部西道ゼミ>

もっとワークシートをやってみたいと思った人は、電子版「神戸新聞NEXT」の「神戸新聞NIE」コーナーでワークシートを検索してみてください。たくさんあるので興味のある新聞記事を選んでね。今回のワークシートの答えは、メール(kobe-nie@kobe-np.co.jp)か、はがき(〒650-8571 神戸新聞社「週刊まなびー」ワークシート係)で、名前と学年、または年齢を添えて18日必着で送ってね。正解者の中から、抽選で毎月10人に神戸新聞の記念品をプレゼントします。

5日週刊まなびー

ワークシートの
解答例

- ①神戸市立王子動物園
- ②【80】
- ③ほとんどを寝て過ごしている
- ④【寝】
- ⑤自由記述
- ⑥【2023年末】【飼育契約延長】